

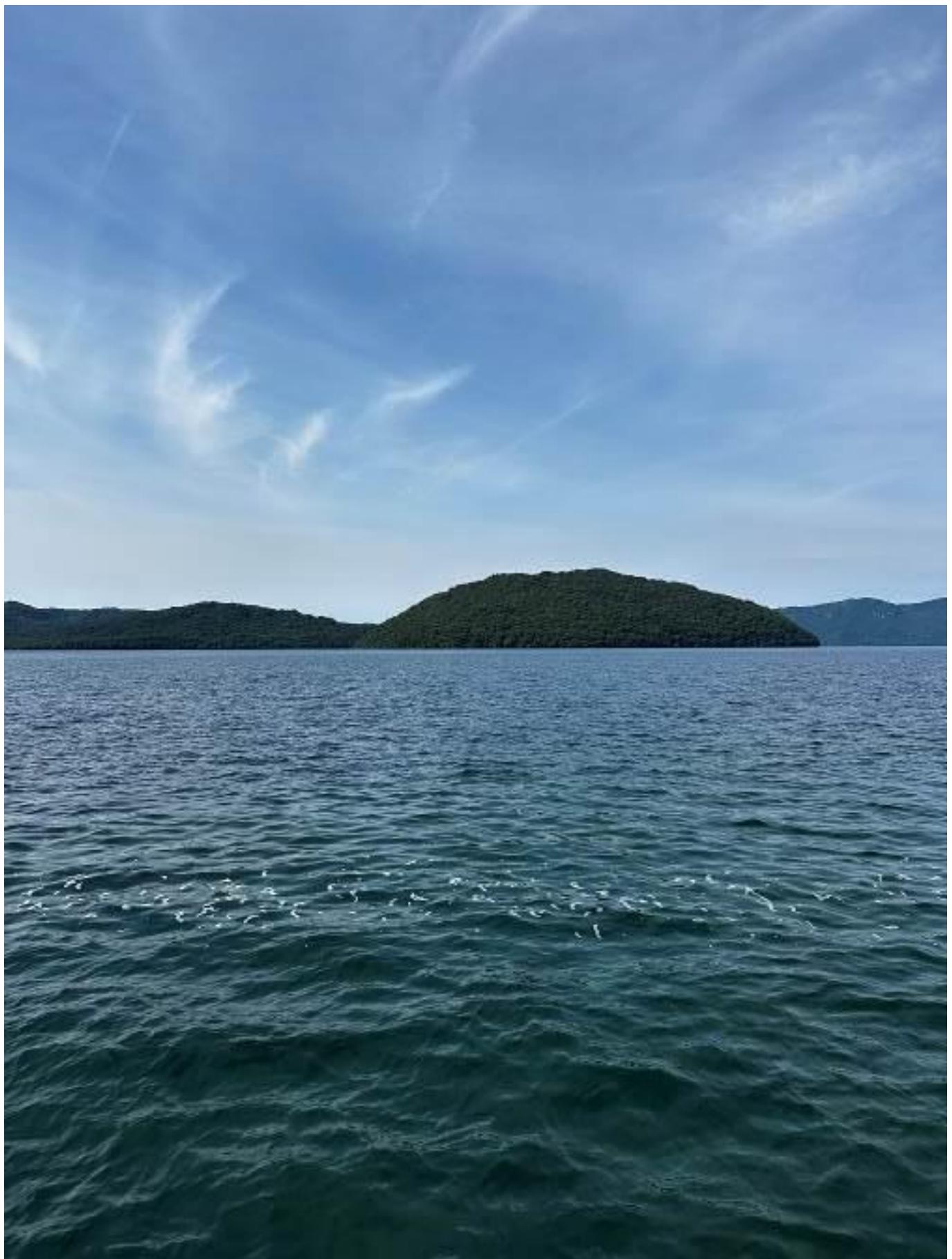
# サロンゆる歩き(ハイキング)ニュース

## 【2024年6月東北温泉旅青森・岩手の写真2】













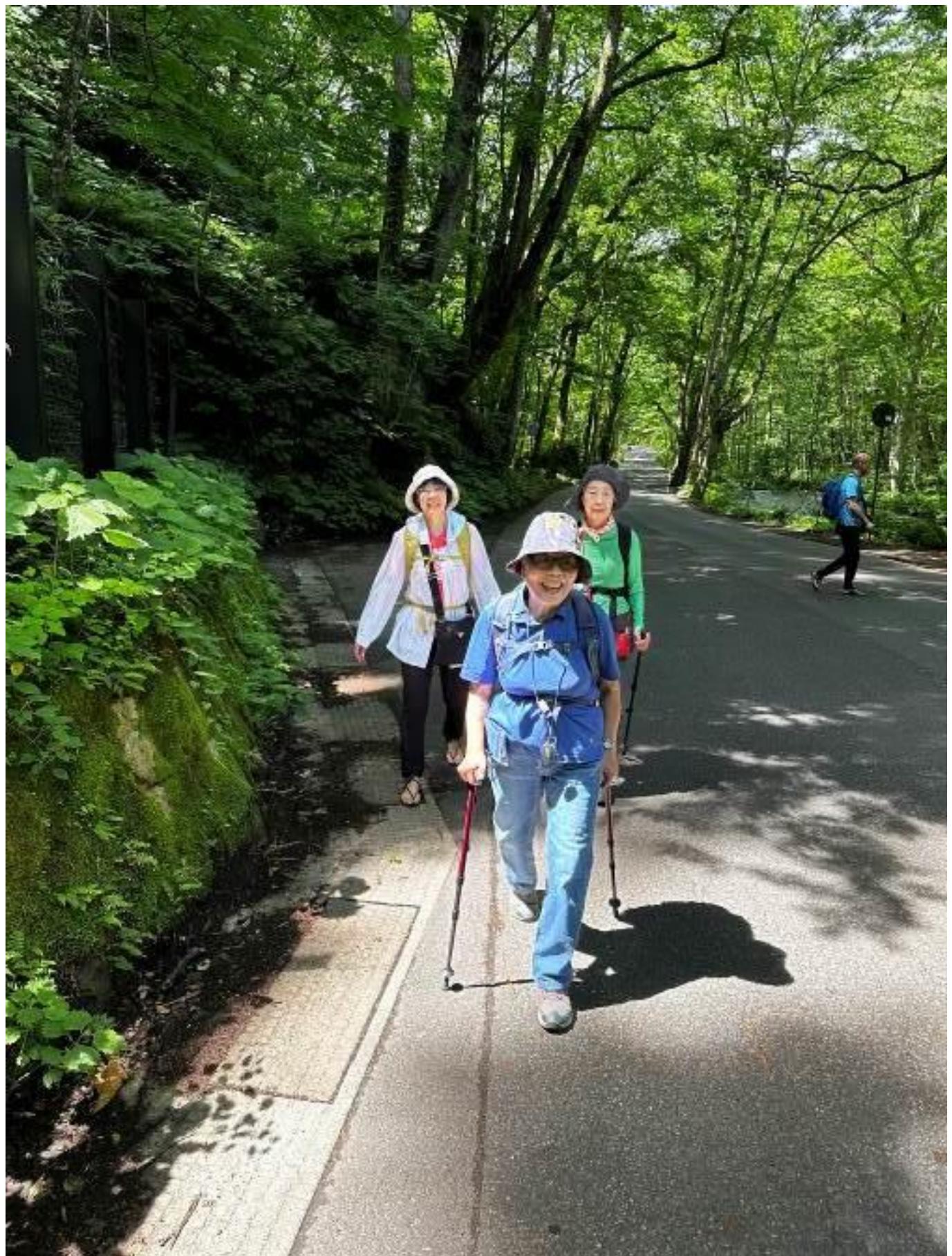


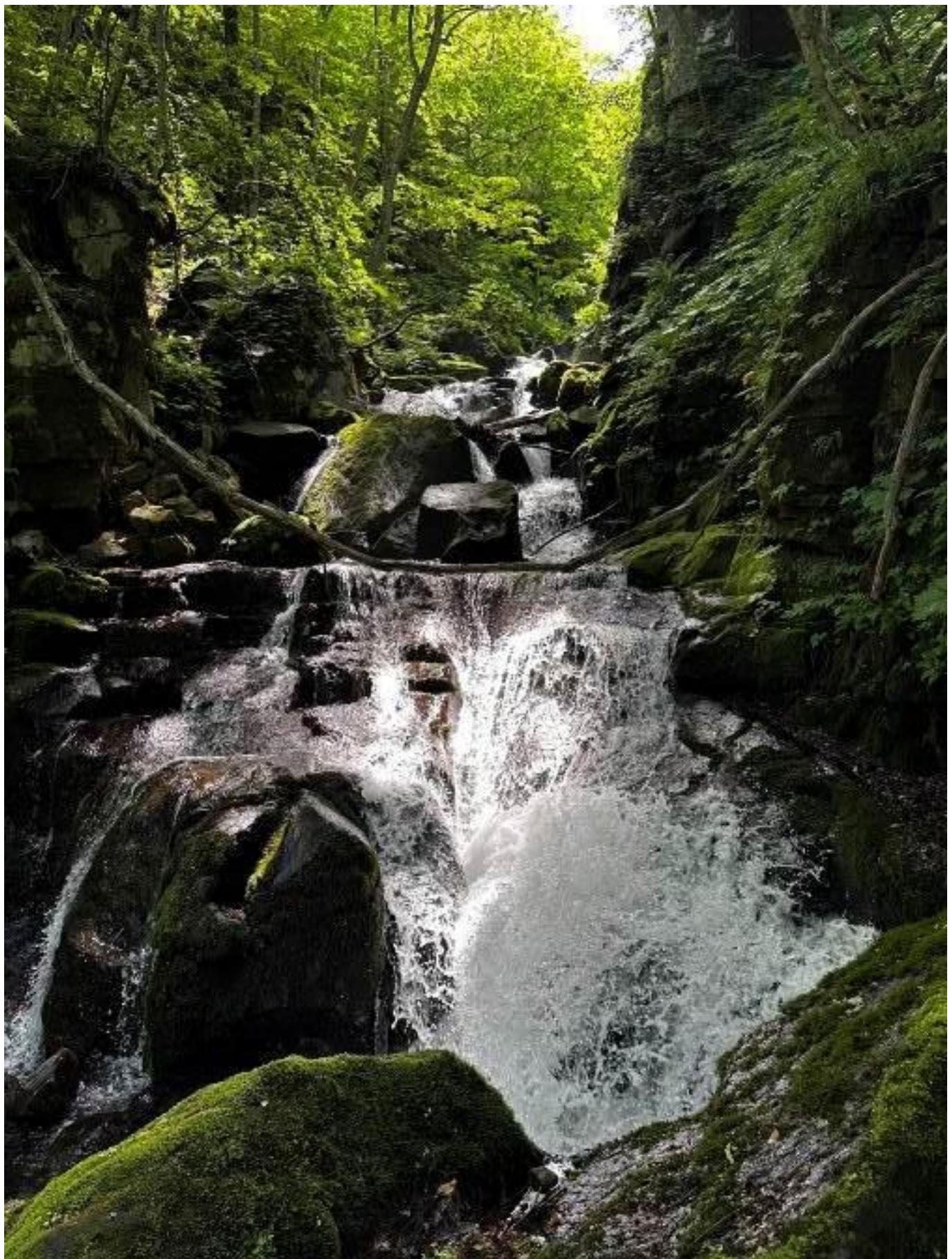










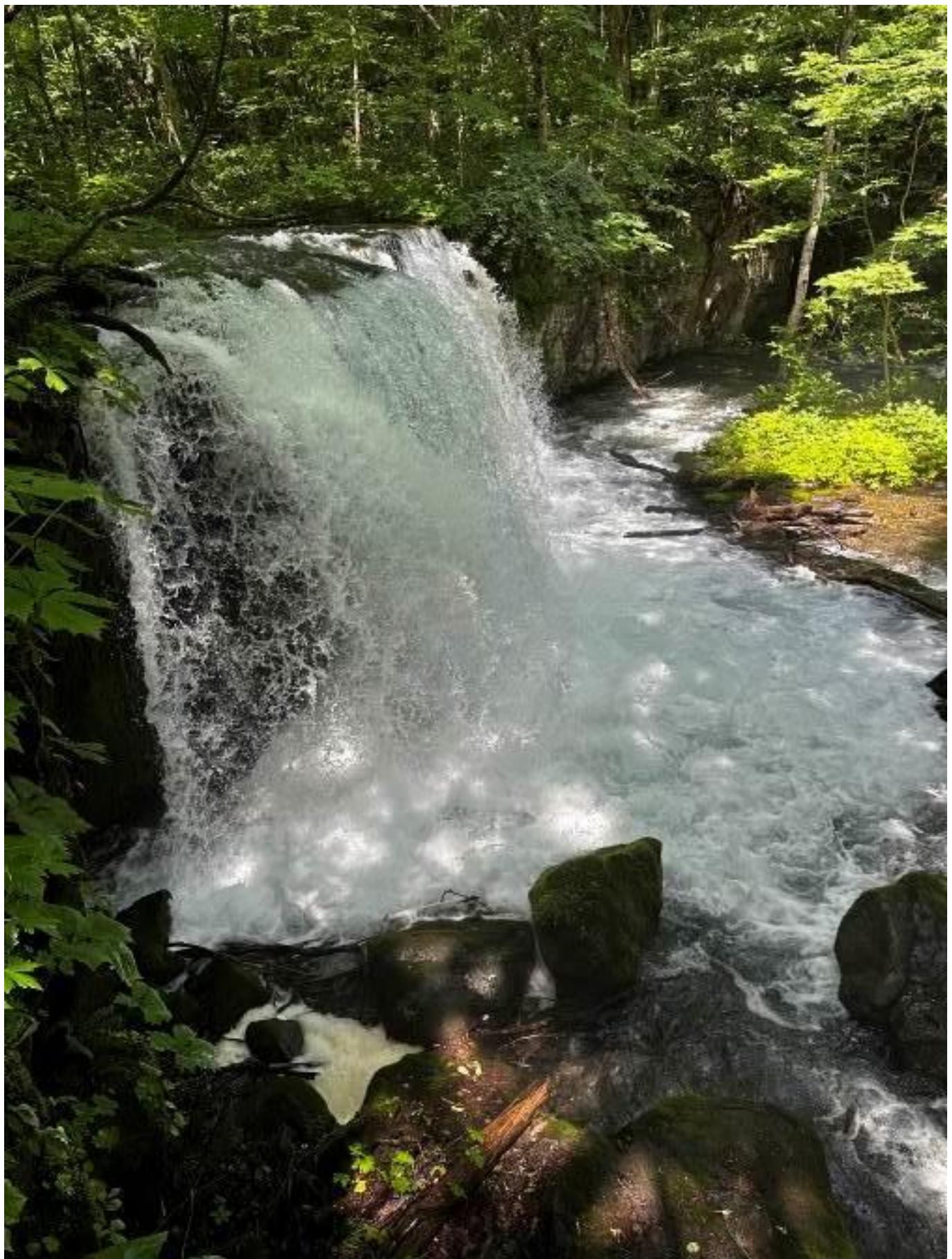


















奥入瀬谿谷の賦 佐藤春夫

瀬に鳴り測に咽びて  
奥入瀬の水歌小なり  
しばし不蔭に佇みて  
耳かたむけよ旅人よ  
うれしからずや谿深み  
林のわれを養ふは  
水清くして魚住ます  
望すくべて愁あり  
十和田の湖の波の裔  
身の清冽を愛しきも  
深山を山學を野に向ふ  
身の現すこそ是非得れ  
友よ谷間の苔清水  
歯朶の峠上瀧つ瀬よ  
やがて野川に濁るへき  
明日の運命は歎かれ  
しづしづ此處いざまで  
さみどり深く聞したる  
高山の氣を身に染めん  
花も楓も多なるを

林に藤の大蛇あり  
谿に桜の鷦<sup>セキ</sup>子ぢて  
何をか求め争ふや  
わが幻きにくむかな

さもあらはあれ木洩日の  
漂ふ波に光あり  
水泡は白く春花と咲き  
鶯老いて春長し  
もしもれ霜にうろこは  
狹霧のひまの高麗錦  
流るる影も朶えあり  
みな一時の夢ながら

わが行く前の十四キロ  
ここに歌あり平和あり  
また朶あり方らめや  
浮べる雲のよろこびに

